

令和 6 年度利用促進事業について

現在の利用促進事業

事業内容：公共交通の利用促進チラシを配布する。

目的：新入生に公共交通機関での通学を促すため。

配布先：市内高校の新入生、まちなかの大学生

配布時期：3月の入学説明会



年度	内容
令和元年度	利用促進チラシを市内高校の入学説明会時に配布
令和2年度	利用促進チラシの内容を交通事業者の新型コロナウイルス感染症対策に変更
令和3年度	利用促進チラシを市内の大学(信愛大学、東京医療保健大学、県立医科大学薬学部)にも配布
令和4・5年度	令和3年度と同内容

利用促進事業に関するご意見

- ・チラシの情報量が多すぎて、読まれず、利用促進効果が小さいのではないかと。
- ・自家用車等の通学が禁止されている高校生は、通学には公共交通機関の利用が不可欠であるため、高校生を対象に通学時の公共交通利用促進チラシに効果があるか疑問がある。
- ・高校生が大学進学や就職した場合に、公共交通の利用につながるような内容がいいのではないかと。

令和6年度利用促進事業について

○ 利用促進事業の予算について

和歌山市公共交通政策推進協議会では、例年、年2回の協議会を開催しています。会議費が1回につき39,000円程度となり、2回で78,000円が会議費として、予算計上されています。

現在、利用促進費として55,000円、予備費として57,922円を予算計上しております。毎年の歳入は和歌山市負担金の78,000円であり、**現状の利用促進を継続した場合は、繰越金の残りが2年間分となっております。**

R6年度予算

歳出	会議費 78,000円	利用促進費 55,000円	事務費 9,000円	予備費 57,922円
歳入	和歌山市負担金 78,000円	R5繰越金 121,922円		

決定事項①

利用促進事業内容を変更する

利用促進事業内容を変更しない

決定事項②

○ どのような利用促進事業にするか

- ・ 何をするか
- ・ ターゲットは誰にするか
- ・ どのような規模ですか など

○ チラシのどの部分を修正するか

- (例) 【意見】 文字や内容が細か過ぎて、見られていない
【修正】 掲載内容を絞り、表記を大きくする など

通学には、ぜひ公共交通機関をご利用ください！！

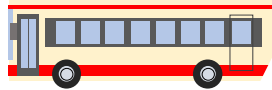
新入生の皆さん・保護者の皆さん、ご入学、おめでとうございます。4月から新たな学生生活がスタートしますね。学校までの通学方法をどのようにするかについて、考えていますか？ぜひとも公共交通機関をご利用になって通学していただきたいです！公共交通機関での通学を**オススメする理由**を以下にご紹介します。

オススメ① 移動時間の有効活用

電車やバスに乗っている時間は、いろいろなことに活用できます。

- ・趣味の読書を楽しんだり、スマホでSNSのチェックをしたり
- ・教科書や参考書、ノートなどで授業の予習・復習をしたり
- ・友達との交流を楽しんだり など

通学は毎日の事ですから、積み重ねは大きいですよ。
限られた時間をうまく活用しましょう！
※周りの人への配慮も忘れないでね。



オススメ② 安心・安全な移動

皆さんが通学する朝の時間帯や帰宅する夕方の時間帯は交通量も多く、急いでいる人も多くいます。実際に、7時～8時、16時～18時台に多く事故が発生しています。そんな中、公共交通機関をご利用になれば、安心・安全に移動ができます。また、暑い日や寒い日、雨の日や風が強い日も安心してご利用できます。

持続可能な社会へ

電車やバスはマイカー（自家用車）に比べ、1人あたりのCO2排出量が少なく済みます（バスで約3分の1、電車で約7分の1）。また、電車やバスは、マイカー（自家用車）を持たない人々にとって、暮らしを支える大切な移動手段であり、駅と観光地や学校、商業施設などをつなぐことで地域活性化を支えています。SDGsが目指す、環境と人に優しく、経済的に発展していくことができるまちづくりには公共交通が不可欠です。



■バスロケーションシステムをご存知ですか？

バスロケーションシステムとは、スマートフォンや携帯電話等により、バスの位置情報がリアルタイムに確認できるシステムです。路線バスは一般道を走行するため、天候や渋滞、事故等により、定時性が確保できないこともありますが、バスの遅れの情報などを携帯やスマホで確認でき、バス待ちのストレス等を軽減できます。

*各バス停留所にもQRコードが掲載されています。「QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です」



バスロケーションシステム (バスの位置情報)

■ICカードやスマホ定期券で非接触で公共交通機関が利用できます。

JRの阪和線、和歌山線、きのくに線（紀勢本線《和歌山駅—和歌山市駅間含む》）、南海電鉄の南海本線、加太線、和歌山港線の鉄道路線、和歌山バス・和歌山バス那賀のバス路線では全域でICカードが利用できます。

また、和歌山電鐵貴志川線では、スマホ定期券が利用できます。



公共交通機関の現状、必要性

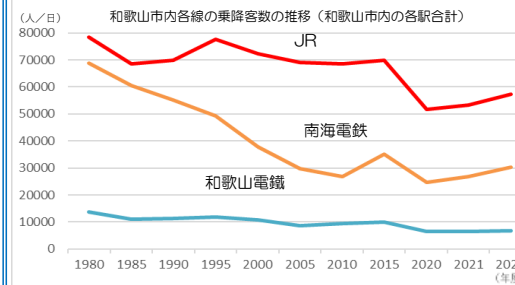
（現状）

和歌山市における電車やバスの利用者数は1980年（昭和55年）から減少しています。【図1、図2参照】。特にバスの利用者数は、1980年と比べ**8割も利用者が減少**しています。

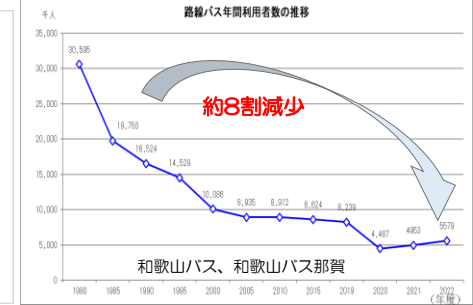
（必要性）

公共交通機関は通勤や通学、買い物、通院など、私たちの日常生活において欠かすことのできない移動手段です。また、高齢者ドライバーの交通事故を未然に防ぐための安心、安全な移動手段でもあります。

⇒利用者が減少し、サービスレベルの低下、さらなる減便・廃線など、負のスパイラルに陥らないように、1人ひとりが公共交通機関について意識し、できるだけ多く公共交通を利用することが必要といえます。**継続的な利用により「みんな」の移動手段をいつまでも維持していくことが今後ますます重要**になってきます。



【図1】電車の和歌山市内各線の乗降客数の推移



【図2】路線バスの年間利用者数の推移

■ヘルプマークをご存知ですか？

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう手助けするのが「ヘルプマーク」です。ヘルプマークを持っている人を見かけたら、席をお譲りする、声をかけるなどで、支援をお願いします。



ヘルプマーク

■お得な乗車券のご案内

通学定期券のほか、電車ではトクトクきっぷ（JR西日本）、おトクなきっぷ（南海電鉄）、1日乗車券、回数券（和歌山電鐵）など、和歌山バスでは高い割引率の1年定期券など、お得な乗車券がたくさんあります。また和歌山バス定期券は金額内であればどの区間でも利用できます。

携帯やスマホからアクセス



和歌山バス



和歌山電鐵



JR西日本



南海電鐵

学校までの経路検索

（駅やバス停以外からも検索可能）



グーグルマップでの検索方法



わかやま交通案内はこちら



発行：和歌山市公共交通政策推進協議会

事務局：和歌山市都市建設局都市計画部交通政策課 TEL073-435-1016/FAX073-435-1251